

令和4年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業報告

1 事業概要

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限や経済活動の制限が見直される中、当事業団においては一部中止となった事業はあったが、概ね計画通りに事業を実施することが出来た。また、県民の保健及び医療の向上と福祉の増進を目的とする4つの公益事業については、県や関係団体との連携を図りながら効率的な事業の実施に努めた。令和4年度の資産運用に関しては、為替が円安方向へ推移したことなどから、保有債券の利回りが上昇したため、予算を上回る運用収益があった。

健康づくり運動普及啓発事業（公益1）では、沖縄県が策定した「健康おきなわ21（第2次）～健康・長寿おきなわ復活プラン～」を踏まえ、コロナ禍における生活習慣や健康意識の変化を考慮しながら事業を実施した。また、生涯を通じた健康づくりとして、若年の頃から健康に対する関心を高めることが重要であることから、若年層を対象とした事業や情報誌・WEB等を活用した啓発を行った。そのほか、健康づくり講演会と併せて体験型イベントを行うなど、各事業において、より健康行動の実践に繋がるよう取り組んだ。また、職場や地域における健康づくりや、健康づくりを行う市町村や団体への助成についても継続して実施し、広く県民の健康づくりの普及に取り組んだ。

臓器移植普及推進事業（公益2）では、沖縄県と委託契約を締結し、臓器移植コーディネーターを2名配置した。関係医療機関においては、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が残っており、ドナー情報数も少なく、提供数については0となった。しかし、関係各所と調整を行いながら定期訪問や会議等を開催し移植医療体制の整備を継続して行った。また、県民への普及啓発事業としては、3年ぶりの開催となった「臓器移植シンポジウム2022」や、10月の臓器移植普及推進月間に合わせて、臓器提供の意思表示を促進するため、コミュニティラジオ局と連携した広報等を行った。なお、（公財）沖縄県アイバンク協会の支援に関しては、業務連携として献眼情報の際に同行しサポートを行った。

ファミリーハウス事業（公益3）では、離島や遠方から本島の医療機関で治療を受ける子どもや付き添い家族の経済的な負担軽減を図り、心身ともに安らぐことができる宿泊施設「がじゅまるの家」の運営を委託し、県民の医療と福祉の向上に努めた。令和4年度の施設の稼働率及び利用人数については、ともに前年度を若干上回る実績となった。また、安全管理のため敷地内斜面に除草シートを設置し、併せて非常時の避難経路として、隣地の看護協会側敷地へ移動できるよう整備を行った。

勤労者福祉事業（公益4）では、公募により就労困難者の雇用に対する支援を行う団体に対し助成事業を行い、雇用に関する相談及び指導等により職業能力を高め、雇用の機会の提供及び人材育成を図り、労働者福祉の向上に取り組んだ。

収益事業においては、引き続き定期貸借契約に基づき所有する建物の貸付け等を行った。また、敷地内から湧出する温泉については、供給量の安定化に伴い、月額利用料を増額する変更契約を行った。

2 事業実績

(1) 健康づくり運動普及啓発事業

ア 健康づくりイベントの開催

(ア)「健康づくり講演会&体験イベント」開催

県民の健康意識の向上を図り、生活習慣の改善や健康づくりの普及を目的に開催した。(講演会及び体験イベントともに、募集定員を上回る応募があったため、抽選を行った。)

・日時/場所：令和4年11月20日(日) 沖縄県立博物館・美術館

・内容：

【講演会】定員200人(約50分)

講師 小林弘幸(順天堂大学大学院医学研究科・医学部教授)

演題 「腸活」で免疫力はぐんぐん上がる！

【体験イベント】各イベントともに定員70人

① 「やせる！整う！若返る！腸ストレッチ」(50分) 講師：小林弘幸

② 「腸活ヨガ」(60分) 協力：スポーツパレスジスタス

(イ) 食育活動の推進

a 調理実習の実施

地域に根差した健康づくりの視点から、減塩・郷土料理の伝承・生活習慣病予防メニュー等をテーマに体験型食育(調理実習)を沖縄県食生活改善推進員連絡協議会に委託し、名護市ほか12市町村で計16回実施した。

・期間：令和4年8月～令和5年2月(参加者：計369人)

b 食育SATシステム活用事業

県内各地における食育イベント及び講習会等において、実物大のフードモデルを用いた体験型栄養教育システムを活用し、県民の食習慣の見直しと望ましい食生活の実践を促すことを目的に、「食育SATシステム(備品)」を(公社)沖縄県栄養士会に貸借し、効率的な運用を図った。(備品使用貸借契約を締結)

[活用実績]

・活用件数：29件 ・講習会等参加者：1,263人

c 沖縄県栄養士会連携事業

① 食育リーダースキルアップ支援事業

地域における食育活動の推進を目的に、県内の食育活動に従事する方を対象として、食育リーダーとしての専門的技術を習得する研修会(講座・調理実習)を計3回開催した。

日時/場所：

令和4年9月10日(土) 石川地区公民館調理実習室(うるま市) 28名

令和4年9月11日(日) 名護中央公民館調理室(名護市) 18名

令和4年9月23日(金) 石垣市健康福祉センター(石垣市) 20名

内容：【講義】「生活習慣病予防のための油脂の摂り方」

講師：笠原寛子(管理栄養士)

【調理実習】「上手に摂ろう！良いあぶら～お手軽メニュー～」

講師：長嶺由香(管理栄養士)

② 若年層向け食育講習会

働き盛り世代の生活習慣病予防とヘルスリテラシーの向上を目的とし、

今後就職や進学を迎える若年層（高校生）を対象に、食育 SAT システムを利用して、生徒自身が選んだメニューの栄養バランスを判定し、栄養士から指導を受ける体験型食育講習会を開催した。

・日 時：令和 4 年 10 月 24 日(月)～10 月 28 日(金)

開催校：那覇商業高等学校（対象者：3 年生 9 クラス、320 人）

(ウ)「若年層の健康教室」の開催

進学や就職などによって、今後 1 人暮らしや寮生活など大きな環境の変化を迎える高校生を対象に、自らの健康や生活習慣について考えるきっかけを提供することを目的に、医師の監修のもとお笑い芸人の漫才やコント等を交えた健康ネタ、柔道整復師や健康運動実践指導者による簡単フィットネス体験、全生徒参加型のクイズ大会、医師による講話を取り入れた健康教室を 2 校で開催した。

a 沖縄県立首里東高等学校（対象者：3 年生全員 210 名）

・日 時：令和 5 年 2 月 7 日（火）11:30～13:00

出演者：演芸集団 FEC 所属芸人 4 組 8 名

今西博昭（宜野湾スポーツ接骨院）

監修医：安谷屋徳章（ゆいゆい内科クリニック）

b 沖縄県立八重山高等学校（対象者：3 年生全員 235 名）

・日 時：令和 5 年 2 月 9 日（木）14:10～16:00

出演者：演芸集団 FEC 所属芸人 4 組 7 名

新里翼（トレーニングジム BuilPani）

監修医：上原真人（沖縄県立八重山病院）

イ 健康づくり情報の提供

(ア) メディアミックス型情報発信事業

健康情報誌「kenko ISLAND」を年 3 回（8 月、11 月、2 月）で各号 20,000 部発行し、県内公的機関、医療機関、金融関係、事業所へ配布した。また、県内コンビニ（セブンイレブン）、タウンプラザかねひで、モノレール各駅及び、イベント等での配布を行った。また、配布場所にマークをつけた地図を WEB 上に掲載し、より多くの人に届けることで幅広い世代の読者層の獲得を図った。各号でプレゼント応募の際に、アンケートを実施しているが、主な結果（2 月号/総数 508 件）は以下のとおりである。

・本誌を手にとった場所はどこか？	1 位 セブンイレブン 約 32% 2 位 職場 19% 3 位 かねひで 10%
・男女別	男性 19.3% 女性 80.3%
・年代別	1 位 30 代 (30%) 2 位 40 代 (27%) 3 位 50 代 (21%) 4 位 20 代 (14%)

また、情報誌の発行に加え、専用ウェブサイト（www.islandweb.okinawa）及び各種 SNS（Twitter、Instagram）、動画配信サイト（YouTube）等の複数メディアを組み合わせることで、若年層を中心とする働き盛り世代に向けた効率的な健康づくり情報の発信に努めた。SNS においては、投稿内容の工夫やキャンペー

ン等の実施によりフォロワー数は徐々に増えており、より多くの方に情報発信出来るよう努めた。(令和5年3月現在フォロワー数:Twitter 1,045、Instagram 839、YouTube 109)

令和4年度の「kenko ISLAND」各号の特集テーマは以下のとおりである。

- ① Vol.62 (8月号) ぐっすり眠ろう
- ② Vol.63 (11月号) 体力 免疫 強い身体
- ③ Vol.64 (2月号) 第6の栄養素 食物繊維で腸活

情報誌には、健康づくりに関する情報の他、グリーンリボン（臓器移植）及びファミリーハウスに関するページも設けており、事業団に関する情報発信も行っている。

(イ) 健康情報発信（ホームページ）

事業団ホームページにおいて、イベント案内や企画コンペ、助成金の公募情報掲載等、県民の健康づくりを支援するための情報を発信した。

また、数字で見る沖縄の現状、県内の公共の運動施設を紹介するページを作成した。

ウ スマートライフサポート事業

(ア) 保険者との連携

スマートライフセミナー

沖縄県市町村職員共済組合の組合員とその配偶者を対象に生活習慣病の予防を目的とした講演・栄養・運動の実践型セミナーを開催した。

- ・令和4年11月29日（火）10：00～15：25 参加者：48人
会場：パシフィックホテル沖縄
- ・令和4年11月30日（水）10：00～15：25 参加者：50人
会場：EM ウェルネス暮らしの発酵ライフスタイルリゾート

【セミナー内容】

講演篇「自分らしく生きるために、あえて「死」について考える」

医師 那須道高

栄養編「生活習慣病を予防する食生活～あなたは、何をどう食べる？～」

管理栄養士 笠原寛子

講習編・実践編「自分で出来る身体メンテナンス」

ヨガインストラクター 城間優美

上記の講演のほか、現在の健康状態を把握し今後の行動変容に繋げるため、会場内に測定コーナーを設置し、血圧計や体組成計を用いた測定を行った。

エ 勤労者健康推進事業

(ア) 健康経営普及啓発プロモーション事業

職場の健康力アップ促進事業（沖縄県との共同事業）

県内企業に対し健康経営の普及推進を目的に、企業の健康づくりを企画、立案から実施までワンストップで支援していく事業を実施するため、企画提案コンペによって選定された（一社）トータルウェルネスプロジェクトオキナワに運営を委託した。当事業では、各企業が抱える職場の健康問題を改善するための取組みを支援した。実績としては、新規支援企業10社、血圧支援企業10社、継続フォローアップ支援企業10社の合計30社（従業員2,108人）、参加延べ人数は506人となっている。その他には、関係団体への取り組み促進として、市町村単位や税務署エリア単位の推進モデルの創出や、効

果的な職場の健康推進を行うための事業者・関係団体の意見把握、健康づくりに関する各種制度の利用促進等の普及啓発を行った。

実施期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

委託額：8,899,000円（うち当事業団負担額3,915,560円）

オ 助成事業

(ア) 市町村健康づくり運動実践活動助成

市町村が実施している健康づくり事業を支援するため、市町村を対象に助成応募者を募り、事業費の10分の7（限度額30万円）の助成を行った。

令和4年度は、7市町村への助成を行った。助成総額：1,854,000円

	市町村名	助成対象事業	開催日	事業内容
1	沖縄市	沖縄市健康づくり教室	R4.9月～ R4.12月	市民が自ら生活習慣病の予防及び健康増進を図ることを目的に、働き盛り世代が参加しやすい平日夜間と土日に健康づくり教室を開催した。内容は、運動や栄養に関する講話、ヨガ・エクササイズ体験、自宅で取り組む筋力トレーニング等を週ごとにメニューを変えて、各コース12回実施した。 参加者/12人、会場/津嘉山の杜ヒルトップカシータ
2	北中城村	eスポーツによる健康イベント	R4.11.27	コンピューターゲームで勝敗を競うeスポーツはオンラインでもプレーできるため、コロナ禍の中、新たな形のスポーツとして老若男女が同じフィールドで競うことができるイベントとして実施した。 参加者/計41人、会場/スタジオキタナカ（イオンモール沖縄ライカム内）とオンラインでの参加
3	伊是名村	第15回伊是名村健康フェア	R4.11.23～ R5.2.10	「食育弁当づくり」を通して、「食育」について考える機会の創出を図るとともに、健康について自覚するきっかけの場とすることを目的とし、グランドゴルフ等の各種運動教室の開催や健康測定を実施した。参加者数/222人
4	嘉手納町	嘉手納町食育事業	R4.8.15	食生活の改善に対する意識の向上及び行動変容を図ることにより町民の健康保持増進に寄与することを目的に、おやこ食育教室を開催した。参加者/6名、会場/嘉手納町中央公民館調理実習室
5	宜野湾市	アプリで歩こう！はごろもウォーク	R4.11.1～ R4.11.30	沖縄県が開発した健康アプリ「オーロラ」を活用し、ウォーキングイベントを開催した。参加者/416名
6	宜野座村	令和4年度いきいき健康ウォーク 第40回健康ウォーク	R4.10.23	ウォーキングで住民のふれあいを通し、運動を継続する楽しさを参加者みんなで共有し、生活習慣として取り入れることを目的に開催した。「いきいき健康フェスティバル」を同時開催し、健康チェック、栄養相談、体組成計等を行った。 参加者/347名、会場/宜野座ドーム・宜野座村立総合体育館
7	那覇市	職場におけるメンタルヘルスケア研修	R4.7.13 R4.8.10 R4.9.28 R4.11.30	コミュニケーションについての基礎理解だけでなく、ストレスの理解及びその対処法など、職場で実践できるメンタルヘルス対策に通じた内容の研修会を開催した。 参加者/9名（職場で健康づくりに関する業務に従事している者） 会場/沖縄県総合福祉センター

(イ) 健康づくり運動実践活動団体助成

広く県民の健康づくりに寄与するため、地域で健康づくり実践活動を継続している団体に対し、事業費の10分の9（限度額30万円）の助成を行った。

令和4年度は、10団体への助成を行った。助成総額：2,601,000円

	団体名	助成対象事業名	開催日	事業内容
1	日本健康運動指導士会沖縄県支部	県民へ健康運動啓発のための動画作成事業	R4.6月～ R5.2月	いつでも、どこでも、誰でも簡単に出来る運動を紹介するための動画を作成し、オンライン動画共有プラットフォーム (You Tube) へアップロードし、誰でも視聴できるようにした。作成動画数/4本
2	沖縄県婦人連合会	女性の健康づくり「ナブちゃんの日」	R4.7.2	生理の尊厳、生理の貧困、生理の負担を社会へ周知し理解を深め、女性が心身ともに健康的な社会生活を送ることができるように支援することを目的に、生理用品の配布と専門医による女性の健康問題の相談を行った。配布者数/700人、会場/沖縄タイムスロビー
3	H・M卓球同好会	卓球講習会	R4.7月～ R5.1月	南城市、那覇市、糸満市で4回ずつ卓球講習会を実施した。参加者数は、延べ320人であった。会場/浦添市立体育館、那覇市民体育館、糸満西崎体育館
4	津波古自治区	わったーしまの健康づくり掲示板！健康サークル交流・育成事業	R4.11月～ R5.1月	「つはこフィットネスプログラム」と称し全5回を通し、ハワイアンフラやマットピラティス等の健康づくりのための健康プログラムを開催した。参加者/25名
5	北中城村観光協会	eスポーツによる健康事業	R4.9.11	介護施設や病院のリハビリにも活用されており、今回、コロナ禍の中、新たなスポーツの形として老若男女が同じフィールドで競う事の出来る e スポーツによる健康イベントを開催した。参加者/計42人、会場/スタジオキタナカ
6	沖縄県歯科衛生士会	はりきり元気いい歯の日	R4.11.6	パネル展示や資料配布、口腔内の検査コーナー等を通して、歯周病予防や口腔ケアに関する正しい知識を普及啓発し、県民の健康の保持増進に寄与することを目的に開催した。参加者/300名、会場/サンエーパルコシティ
7	沖縄県栄養士会	県民の健康増進のための食生活充実に向けた啓発	R4.7月～ R5.2月	各世代の食課題の解決を支援する栄養・食事等のパンフレット7種類を作成し、県民に効果的に活用してもらえるよう配布し、栄養士会HPでもダウンロード可能とした。配布先/県下全市町村・社会福祉協議会
8	沖縄県看護協会	禁煙支援者実践報告会・研修会	R5.1.14	禁煙支援研修会を開催し、支援者の実績報告や意見交換、アドバイザーからの助言を通してスキルアップを図った。参加者/42名(オンライン参加含む)、場所/沖縄県看護研修センター
9	沖縄県食生活改善推進員連絡協議会	健康づくり講演会～沖縄県食生活改善推進委員連絡協議会30周年記念事業～	R4.12.3	県民の健康課題となっている肥満予防と食育推進に関する講演会を開催した。参加者/185名、会場/沖縄総合福祉センターゆいホール
10	Kailua Hula Studio	フラを通してココロとカラダの健幸づくり～がんにゅうフラ&アロハサイト	R4.11月	フラワークショップの開催(6回)とモーニングフラ&ビーチグリーン(5回)を実施し、フラによる運動習慣の定着と心身のリフレッシュを図る。 [フラワークショップ]計6回/参加者延べ128名 [アロハサイト]計5回/参加者延べ69名

(ウ) 健康づくりボランティア養成・活動支援強化事業

市町村の健康づくりを担う人材の確保・育成を図るとともに、その活動を活発化させることで、県民の健康づくりを推進する環境を整えることを目的に、市町村を対象に助成応募者を募り、11市町村へ事業費の助成を行った。助成金額については、事業費の10分の5とし、限度額については次のとおりとした。

限度額：人口4万人以上・・・40万円、人口4万人未満・・・30万円

助成総額：2,154,000円

	市町村	事業内容				主な事業内容
		①健康づくり推進員		②食生活改善推進員		
		養成	活動支援	養成	活動支援	
1	那覇市			○	○	②養成（育成）46名 補助金交付
2	宜野湾市	○	○		○	①養成（育成）18名、健康教室補助 ②養成（育成）59名、補助金交付
3	浦添市			○	○	②養成（育成）36名
4	沖縄市			○	○	②養成（育成）5名 補助金交付
5	豊見城市			○	○	②養成（育成）20名
6	読谷村		○ 健康づくりサポ ーター		○	①健診受診勧奨での活用 ②補助金交付
7	嘉手納町		○ 健康を守る会		○	①補助金交付 ②補助金交付
8	中城村		○ 健康生活推進員			①研修会の実施、各種健康教室での活用 参加者（22名）
9	西原町	○		○	○	①養成（育成）1名 ②養成（育成）3名 研修会の実施、イベント等での活用
10	与那国町				○	②研修会旅費、食育教室の実施
11	うるま市			○		②養成（育成）5名
	伊江村	—	—	—	—	申請取り下げ（新型コロナウイルス感染症による 感染対策等で事業実施が困難なため）

カ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業等

(ア)「県民健康フェア」の開催

(2) 臓器移植普及推進事業

臓器の移植に関する法律が施行されて25年が経過したが、思ったような臓器提供者（ドナー）の増加はなく、未だ移植を受けられるのは希望する人の2%程と課題は多く残っている。

本県における透析患者数は、人口100万人あたりの患者数で全国上位に位置し、令和4年12月末では238の方が献腎移植希望の登録を行っている。また、令和3年に琉球大学病院が県内で初めて膵臓移植施設として認定され、県内で膵臓移植手術を待つ患者も増えている。今後、琉球大学病院は肝臓移植施設としての認定も目指している。また、臓器移植に必要な組織適合性（HLA）検査施設の閉鎖等の課題に関しては、引き続き県保健医療部及び関係機関との調整状況を把握しながら、対応を検討していく。

沖縄県では、新型コロナウイルス感染症流行が始まってから、ドナー情報数は大幅に減少し、令和4年は34年振りに臓器提供者数ゼロとなった。しかし、流行が落ち着いてきた下半期以降においては、関係医療機関と連携した活動を活発化させ、徐々にではあるがドナー情報も入るようになってきた。また、県民に対する普及啓発事業においても、様々な取り組みを行い、臓器提供意思表示の促進を図った。

ア 臓器移植連絡調整者設置事業（県からの受託事業）

臓器移植連絡調整者（臓器移植コーディネーター）を2名配置し、日本臓器移植ネットワークと協働しながら、関係医療機関との連携に努めた。

（ア）臓器提供者（ドナー）発生時の対応（あっせん業務）

令和4年度の本県におけるドナー情報数は10件（昨年度7件）あったが、いずれも提供には至らなかった。移植については、県外からの提供があり、2名の患者に腎臓移植が行われた。

数字：県内実績件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
情報数	0	1	0	0	2	0	1	0	4	0	0	2	10
提供数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎移植数	0	0	0	0	0	0	0	0	2※	0	0	0	2
肝移植数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※県外ドナーからの提供による移植

（イ）臓器移植推進委員会の開催（計3回）

臓器移植の専門的立場からの指導助言を受け、正しく臓器移植医療の普及啓発を図るため、専門医による推進委員会を開催した。

- 第1回 令和4年6月30日（木） 19:00～20:30 事業団会議室
- 第2回 令和4年11月29日（火） 19:00～20:30 事業団会議室
- 第3回 令和5年3月28日（火） 19:00～20:30 事業団会議室

（ウ）臓器移植コーディネーターの教育並びに適切かつ円滑に業務が遂行できるよう日本臓器移植ネットワークが開催する研修会や日本臓器移植学会等の関連学会への参加を行った。

イ 医療機関の移植医療体制整備事業

（ア）病院啓発等

新型コロナウイルス感染症が蔓延している状況においても、可能な限り医療機関を巡回訪問し、勉強会や移植関連情報の提供に努めた。令和4年度から那覇市立病院が臓器提供連携体制構築事業（日本臓器移植ネットワーク助成事業）に参加したことで、これまでとは違った形で医療機関に対するアプローチができた。また、行政や警察などの関係機関への訪問も行い連携強化を図った。

（イ）沖縄県移植情報担当者会議（計2回）

- ・開催日時：令和4年12月9日（金）14:00～16:00
開催場所：沖縄県三重城合同庁舎 研修室
参加者：29人（12施設）
内 容：報告「臓器提供の現状について」
仲間貴享（沖縄県保健医療福祉事業団）
講演「ドナー家族から医療者へのエール」
五十嵐利幸（ドナー家族）
講演「臓器提供に関わる医師の使命について」
中尾篤典（岡山大学大学院）
- ・開催日時：令和5年3月9日（木）14:00～16:00
開催場所：沖縄県三重城合同庁舎 研修室

参加者：32人（12施設）

内容：講演「患者の思いに応えるために」

渥美生弘（聖隷浜松病院）

講演「長年臓器移植に関わり思うこと」

當間茂樹（臓器移植推進委員会委員長・とうま内科院長）

（ウ）研修会等派遣事業

・派遣先：第58回日本移植学会（令和4年10月13～15日）

派遣者：院内コーディネーター4名（那覇市立病院2名、浦添総合病院2名）

・派遣先：第56回日本臨床腎移植学会（令和5年2月10日～12日）

派遣者：院内コーディネーター1名（浦添総合病院）

※上記（ア）、（イ）の事業については、日本臓器移植ネットワークの2022年度都道府県支援事業費助成金を活用し実施した。

ウ 県民への普及啓発事業

（ア）臓器提供意思表示カードの配布及び所持・意思表示欄への記載を推進するため、県、市町村及び関係機関の協力を得てカードの設置や健康保険証・自動車免許証等への記載推進について普及啓発を行った。

○市町村、関係機関等へ意思表示カードの補充を行った。

○沖縄タイムス社、琉球新報社の紙面広告にて臓器移植普及推進月間及び法施行25周年事業のPRを行った。

○コミュニティラジオ局と連携した意思表示促進事業を行った。

連携局：FMよみたん、FMうるま、FMとよみ、FMいしがき 計4局

期間：令和4年9月～令和4年10月

事業内容：20秒スポットCM 計419本、番組出演 計5回（FMよみたん）、週刊ほ～むぶらざの紙面掲載 計5回

（イ）臓器移植普及推進月間行事

毎年10月に開催している「臓器移植普及推進月間行事」を、沖縄県、（公財）沖縄県アイバンク協会、（一社）沖縄県腎臓病協議会等と連携し実施した。

○臓器移植を知るシンポジウム2022

キャッチフレーズ：臓器移植を『知る』で終わらず『選択』を

開催日時：令和4年10月8日（土）14:00～16:00

開催場所：沖縄県立図書館 3階ホール

参加者：71人

内容：講演「臓器移植法制定から25年、沖縄県の移植医療のこれまでとこれから」和氣亨（シンポジウム実行委員長・県立南部医療センター・こども医療センター病院長）

講演「Life in colorful」森原大紀（心臓移植経験者）

「闘病を支える家族の思い」心臓移植経験者のご家族2名

（ウ）沖縄グリーンリボンアート展の開催

移植医療について県民の関心を高めることを目的にグリーンリボンアート作品展を開催した。

○県立図書館：令和4年10月5日（水）～10月31日（月）

○県立中部病院：令和4年11月14日（月）～12月16日（金）

(エ) Instagram キャンペーンの実施

グリーンリボン沖縄 Instagram オフィシャルアカウントを活用しグリーンリボン認知度向上のため、YouTube 動画再生を促すキャンペーンやキャッチフレーズの募集を行った。また、のぼり旗デザインを募集・作成し、県内医療機関にて10月の臓器移植普及推進月間に展示を行った。

○募集期間：令和4年7月11日(月)～8月14日(日)

(オ) グリーンリボンプロモーション事業

県内で活躍するアーティストのキヨサク氏（モンゴル800）が音楽プロデュースしたグリーンリボンプロモーションビデオ〔令和2年制作〕で使用している音源を活用した映像CMを制作し配信を行った。

○RBC琉球放送

〔テレビCM〕

内 容：15秒スポットCM／2タイプ（医師編・コーディネーター編）

期 間：令和4年10月3日～10月23日（計42回）

〔情報番組内告知〕

番組名：「Aランチ」護得久栄昇のうちなー漫遊記

放送日：令和4年10月16日

○わおちゅーぶ（事業団YouTubeチャンネル）

エ 助成事業

(ア) 組織適合性検査の助成

献腎移植登録可能施設（友愛医療センター、沖縄県立中部病院）で、組織適合性検査を受けた臓器移植希望者18人に対して、一人2万円の助成を行った。

(イ) 臓器移植普及啓発活動団体助成事業

広く県民に臓器移植が正しく理解されることを目的に、県内において臓器移植の普及啓発活動を実施している下記の2団体に対し10万円を上限に助成を行った。

○（一社）沖縄県腎臓病協議会

○（公財）沖縄県アイバンク協会

オ 賛助会員の募集（1口：3万円）

賛助会員加入の協力を、県内の医療機関及び企業団体等に呼びかけたところ、24団体から24口、72万円の会費収入があった。

カ 献眼業務支援

（公財）沖縄県アイバンク協会より要望のあった献眼業務支援について、3件のサポートを行った。

キ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業

(ア) 沖縄県移植情報担当者会議（6月開催）

(イ) 臓器提供に関する調査（2施設）

(ウ) 街頭キャンペーン（臓器移植普及推進月間行事）

(3) ファミリーハウス事業

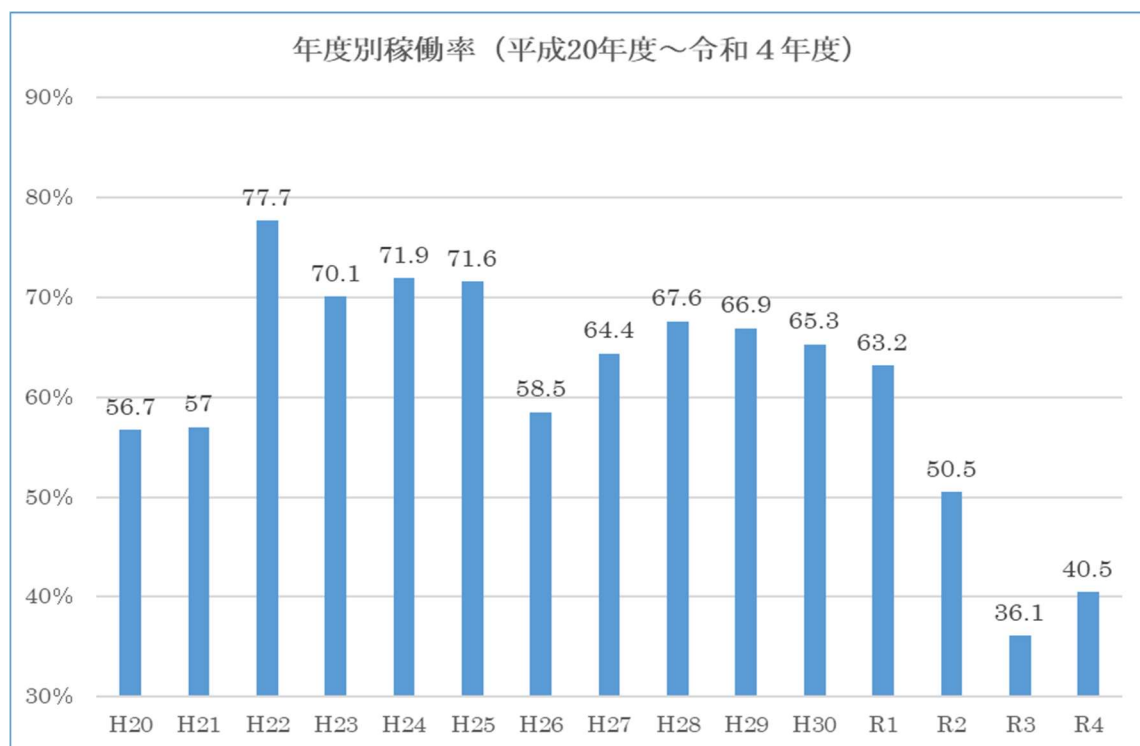
離島など遠隔地から「南部医療センター・こども医療センター」等に、入院または

通院する子どもや付き添い家族のための滞在施設として、ファミリーハウス「がじゅまるの家」の運営を認定NPO法人「こども医療支援わらびの会」に委託して行い、病児及び家族の経済的負担や精神的不安の解消に努めた。また、施設においては、利用者が快適に過ごせるよう環境整備に努めた。ファミリーハウス事業について広く県民に周知するため、当事業団発行の健康情報誌「kenko ISLAND」誌面にて紹介記事（Q&A、ナイトマネージャーの1日等）を掲載した。

ア 令和4年度の施設稼働率及び利用者数等の実績

ファミリーハウス「がじゅまるの家」利用状況（令和4年4月～令和5年3月）

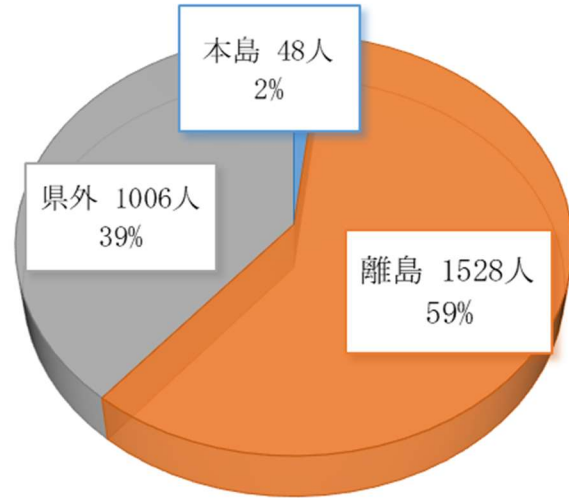
月	営業日数	利用室数	稼働率	利用者数(人)				
				沖縄県内			県外	合計
				本島	離島	計		
4	30	86	28.67%	4	137	141	2	143
5	31	91	29.35%	1	114	115	56	171
6	30	117	39.00%	4	84	88	120	208
7	31	108	34.84%	6	50	56	167	223
8	31	116	37.42%	5	104	109	132	241
9	30	119	39.67%	7	83	90	101	191
10	31	114	36.77%	13	98	111	47	158
11	30	170	56.67%	2	164	166	109	275
12	31	143	46.13%	1	152	153	113	266
1	31	116	37.42%	0	143	143	50	193
2	28	125	44.64%	0	202	202	22	224
3	31	170	54.84%	5	197	202	87	289
計	365	1,475	40.45%	48	1,528	1,576	1,006	2,582



都道府県別利用者数及び割合

都道府県	人数	割合
沖縄県	1,576	61.0%
鹿児島県	369	14.3%
兵庫県	203	7.9%
三重県	176	6.8%
宮崎県	87	3.4%
千葉県	54	2.1%
宮城県	26	1.0%
高知県	26	1.0%
福岡県	26	1.0%
大阪府	17	0.7%
岩手県	12	0.5%
青森県	8	0.3%
滋賀県	2	0.1%
合計	2,582	100.0%

居住地別利用者及び割合 (N=2,582人)



沖縄県内居住地別の利用者内訳

R4年度	沖縄本島								沖縄県 離島							合計
	名護	本部	大宜味	今帰仁	うるま	北谷	豊見城	伊平屋	座間味	久米島	宮古	石垣	粟国	伊江	南大東	
4月	4							39			22	72	4			141
5月							1	41		2	52	16		3		115
6月				4				25	7	8	25	8			11	88
7月	6									8	22	20				56
8月	5										63	41				109
9月	5				2					20	48	15				90
10月						13					57	33	8			111
11月		2									120	44				166
12月		1								14	72	65		1		153
1月										1	69	73				143
2月								6			89	97	10			202
3月			5					3	8	21	110	55				202
合計	20	3	5	4	2	13	1	114	15	74	749	539	22	4	11	1,576
	48								1,528							

イ 利便性向上事業

建築設備改修整備事業

施設設立当初からの古い冷房設備の取り換え工事、敷地内「がじゅまるの杜」及び避難経路の整備を行った。

ウ ファミリーハウス運営協議会の開催

ファミリーハウス「がじゅまるの家」に関する業務を円滑に実施するため、県、南部医療センター・こども医療センター、こども医療支援わらびの会、当事業団、がじゅまるの家ハウスマネージャーが参加する運営協議会を開催した。

開催日時：令和4年12月8日（木）10:00～11:00

場所：ファミリーハウス「がじゅまるの家」多目的室

議題：①運営にあたっての役割の明確化

②病院とその連携について

(4) 勤労者福祉事業（就労支援事業）

県内において就労困難者に対する就労支援事業を行う団体に対し、その事業費を公募により募集し、助成を行った。就労支援においては、長期離職者など現在の状況から就労に時間を要する方、生活や心の問題を抱えている方なども多いことから、効果的な支援に繋げるため、就労の継続及び生活自立に向けた支援機関との連携など総合的支援が求められている。助成額 1,500 万円。

- 1 助成団体：（公財）沖縄県労働者福祉基金協会
- 2 助成対象事業：沖縄県労福協 就労サポートセンター事業
- 3 実施期間：令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月
- 4 事業内容：
 - (ア) 就労困難者に対する雇用に関する相談及び指導
 - a 就労訓練事業
 - 出張型 PC セミナー（浦和寮）＜計 4 回、受講者 1 人＞
 - b 就労体験・中間的就労の場の提供
 - フードバンク活動への参加＜計 26 回、参加者 17 人＞
 - ピッキング作業＜計 7 回、参加者 10 人＞
 - ガス・水道検針、清掃業務＜計 25 回、参加者 8 人＞
 - c 社会保障制度等の知識習得
 - ライフリテラシーセミナー＜計 14 回、参加者 106 人＞
 - (イ) 就労困難者に対する雇用に関する情報収集及び提供
無料職業紹介事業
 - 「就労困難者」にマッチングした求人開拓（新規登録企業数 1 社）
＜新規求職申込者 1 人、採用決定者 1 人＞
 - (ウ) 資格取得、技術または技能の習得等職業能力を高める事業
パソコン検定対策講座＜計 6 回、参加者 1 人＞
 - (エ) その他就労支援のために必要な事業
 - a キャリア教育（夢&未来そうぞうプロジェクト・沖縄大学学生向け出張相談）
＜計 13 回、参加者 176 人＞
 - b 働く仲間のゆめ・みらい基金（「働く」につなげる支援）に係る連携支援
連携機関：市町村、県内社会福祉協議会、県内就労支援関係団体等

令和 4 年度沖縄県労福協 就労サポートセンター実績

	新規人数	利用回数 (延べ)	就職者数
4 月	20	20	1
5 月	7	23	1
6 月	1	28	0
7 月	1	31	1
8 月	2	16	0
9 月	2	10	0
10 月	1	9	1
11 月	20	30	0
12 月	18	20	2
1 月	46	52	2
2 月	41	54	3
3 月	52	71	2
合計	211	364	13

※グッジョブセンターおきなわ内実施支援・セミナーで対応した数値（出張セミナー及び共催セミナー含む）

(5) 現有資産の活用

事業団が所有する施設を民間フィットネス事業者の(株)フィットネスプロモーション及び(公財)沖縄県アイバンク協会へ定期賃貸借契約により貸し付けた。(株)フィットネスプロモーションが運営する「ジスタス浦添」の令和4年度施設利用者の延べ人数は、約399,000人となっており、県民の健康増進に活用された。土地については、発電設備設置の土地(152.08㎡)を(株)シントーへ貸し付けた。敷地内から湧出する温泉は、動力装置により汲み上げ、温泉施設(ジスタス浦添及び浦添の湯)へ供給を行った。温泉貯湯タンクの設置や定期的な温泉配管洗浄等を行うことにより、温泉供給量の増加及び安定が図られたことから、令和4年8月より月額25万3千円増額し、月額使用料を127万6千円とした。

(6) 特定資産活用による拡充事業計画等について

ア 拡充事業(平成30年度～令和5年度)

拡充計画による事業実施は6年目となり、予算額26,287,000円に対し、決算額は17,197,656円であった。総務部門、臓器移植推進部門では、概ね計画どおりの実施となったが、健康づくり部門の助成事業の応募件数や1件あたりの助成額が想定より少なかったこと、ファミリーハウス部門の避難経路の整備方法を変更した影響等により不要額が生じ、執行率は65.4%となった。

	事業名	実施内容
総務	安全対策施設整備強化事業	・不具合による作業効率の低下の防止、オンライン会議時における安全性を高めるため、パソコンの取り替えを行った。
健康づくり	団体等連携型事業	・食育に関する事業として、県栄養士会との連携事業を行った。 ※詳細は、P2～3 ア(イ)c①、②参照 ・市町村の健康づくりを担う人材育成を図るため、公募により、11市町村へ助成支援を行った。 ※詳細は、P6～7 オ(ウ)参照
	勤労者健康推進事業	・沖縄県健康長寿課との共同事業として、企業に対する健康経営の普及推進に関する事業を実施した。 ※詳細は、P4～5 エ(ア)参照
臓器移植	テレビ番組活用型事業	・音楽を活用したグリーンリボンプロモーション事業として、映像CMを制作し配信等を行った。 ※詳細は、P10 ウ(オ)参照
	学会等派遣事業	・院内CO等を、臓器移植医療関連学会等の研修へ派遣した。 ※詳細は、P9 イ(ウ)参照
FH	建築設備改修整備事業	・非常時における避難経路の整備を行った。 ※詳細は、P12 イ参照

事業拡充計画資産(特定資産)の活用による拡充事業計画表

【平成30年度から令和5年度まで】予算総額2億円

事業名(中科目)	事業名(小科目)	事業予算(円)			合計
		平成30年度から 令和3年度まで (実績額)	令和4年度 (決算額)	令和5年度 (予算額)	
(1) 経営業務効率化 推進事業	① 経営管理システム導入事業	3,891,360	0	0	3,891,360
	② 安全対策施設整備強化事業	25,479,552	485,100	3,893,000	29,857,652
(2) 健康づくり強化 推進事業	① 団体等連携型事業	18,443,969	3,252,486	3,148,000	24,844,455
	② 健康課題解決型支援事業	45,529,853	0	2,703,000 (10,019,000)	48,232,853
	③ 勤労者健康推進事業	10,605,998	3,915,560	12,435,000	26,956,558
(3) 臓器移植普及促進 人材育成事業	① 移植医療セミナー(TPM) 追加派遣事業	993,189	0	0	993,189
	② 学会等派遣事業	576,830	385,700	0	962,530
(4) 臓器移植普及 啓発促進事業	① 臓器移植普及啓発イベント 事業	952,600	0	4,000,000	4,952,600
	② テレビ番組活用型啓発事業	5,000,000	3,500,000	9,500,000	18,000,000
(5) ファミリーハウス 利便性向上事業	① 建築設備改修整備事業	3,730,800	2,635,000	15,594,000	21,959,800
	② 看板設置事業	0	0	0	0
	③ 宿泊予約システム構築事業	1,132,920	0	0	1,132,920
	④ 施設紹介動画制作事業	0	0	0	0
(6) 人件費	① 嘱託職員人件費	15,333,117	3,023,810	0	18,356,927
合計額		131,670,188	17,197,656	51,273,000 (10,019,000)	200,140,844 (10,019,000)

※表中(10,019,000)は、(2)-②健康課題解決型支援事業の一般予算と拡充予算を合わせた総事業費。

(7) 資金運用

令和4年度の日本経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかに持ち直しが続いた。一方で、ロシアのウクライナ侵攻等による原材料価格の上昇や、世界的な金融引締め等による景気の減速も懸念された。また、米国で金利の引き上げが実施され、日米の金利差が拡大したことなどにより、円安が加速した。事業団においては、円安になると金利が上昇する仕組みとなっている債券を多く保有していることから、令和4年度の運用については、実績額 165,966,950 円となり、対前年度比で 46,059,431 円の増加、予算額に対しては 146% の収入超過となった。また、満期を迎えた定期預金や期限前償還となった債券については、高い信用力を有し安定した収入が見込める電力債(東京電力パワーグリッド債、沖縄電力債)や、リスクの分散を図るため、新たな運用資産の対象として財投機関債(鉄道建設・運輸施設整備機構)を購入した。

ア 損益ベース(正味財産増減計算書から)

運用種類	令和4年度				令和3年度				対前年度増減	
	運用額 (千円)	構成比 (%)	運用益 (千円)	利回り (%)	運用額 (千円)	構成比 (%)	運用益 (千円)	利回り (%)	運用額 (千円)	運用益 (千円)
基本財産	3,505,000	48.61%	60,193	1.72%	3,505,000	48.61%	38,904	1.11%	0	21,289
特定資産	3,705,000	51.39%	105,773	2.85%	3,705,000	51.39%	81,002	2.18%	0	24,771
計	7,210,000	100%	165,966	2.30%	7,210,000	100%	119,906	1.66%	0	46,060

※上記の運用額には、早期償還となった有価証券を振替えて普通預金で保有する金額を含む。

3 業務経過 (令和4年度)

月日	主 要 事 項
4月1日	令和4年度第1回臨時評議員会(書面によるみなし決議)
〃	令和4年度第1回理事会(書面によるみなし決議)
〃	ファミリーハウス運営委託契約の締結(こども医療支援わらびの会)
〃	臓器移植連絡調整者設置事業受託(沖縄県)
6日	臓器移植普及啓発活動団体助成事業応募開始
11日	臓器移植推進事業賛助会員応募開始
15日	ボランティア養成・活動支援助成応募受付開始(5/31迄)
〃	市町村及び団体助成事業応募受付開始(5/31迄)
18日	就労支援事業応募開始(5/31迄)
5月20日	令和3年度事業報告及び決算に係る監事による監査実施
6月2日	令和4年度第2回理事会
22日	令和4年度定時評議員会
30日	第1回沖縄県移植情報担当者会議開催
7月11日	Instagramキャンペーンのぼり旗デザイン募集受付開始(～8/14迄)
8月1日	健康情報誌「KENKO ISLAND Vol.62」の発行(発行部数20,000部)
〃	食育活動調理実習の開催(13市町村にて計16回開催、R5.2/23迄)
4日	職場の健康力アップ促進事業開始(県共同事業R4.3.25迄)
31日	令和4年度第3回理事会(書面によるみなし決議)
9月1日	コミュニティラジオ局との連携したラジオスポットCM(9月～10月)
14日	令和4年度第2回臨時評議員会(書面によるみなし決議)
10月3日	グリーンリボンプロモーション事業テレビCM放送(～10/23迄)
5日	沖縄グリーンリボンアート展開催(県立図書館：～10/31迄)
8日	臓器移植を知るシンポジウムの開催(県立図書館)
13日	研修会等派遣事業(日本移植学会)～15日迄
16日	グリーンリボンプロモーション事業 情報番組内告知
24日	若年層向け食育講習会(那覇商業高校9クラス：～10/28迄)
11月1日	健康情報誌「KENKO ISLAND Vol.63」発行(発行部数20,000部)
14日	沖縄グリーンリボンアート展開催(県立中部病院：～12/16迄)
20日	健康づくり講演会&体験イベント(沖縄県立博物館・美術館)
29日	第2回臓器移植推進委員会開催

11月	スマートライフセミナー開催（那覇）
30日	スマートライフセミナー開催（中部）
12月8日	ファミリーハウス運営協議会の開催（がじゅまるの家）
9日	第1回沖縄県移植情報担当者会議開催
2月1日	健康情報誌「KENKO ISLAND Vol.64」発行（発行部数20,000部）
7日	若年層の健康教室（首里東高校）
9日	若年層の健康教室（八重山高校）
10日	研修会等派遣事業（日本臨床腎移植学会）～12日迄
3月9日	第2回沖縄県移植情報担当者会議開催
24日	令和4年度第4回理事会
28日	第3回臓器移植推進委員会開催

4 評議員会決議事項

(1) 令和4年度第1回臨時評議員会 みなし決議（令和4年4月1日）

議案番号	議案	結果
第1号	評議員及び理事の辞任に伴う補欠選任について	議決

(2) 令和4年度定時評議員会（令和4年6月22日）

議案番号	議案	結果
第1号	令和3年度事業報告及び決算報告の承認について	議決
第2号	評議員の辞任に伴う補欠選任について	議決

(3) 令和4年度第2回臨時評議員会 みなし決議（令和4年9月14日）

議案番号	議案	結果
第1号	評議員の辞任に伴う補欠選任について	議決

5 理事会決議事項

(1) 令和4年度第1回理事会 みなし決議（令和4年4月1日）

議案番号	議案	結果
第1号	専務理事の選定について	議決
第2号	専務理事に事務局長の職務を委嘱する件について	議決

(2) 令和4年度第2回理事会（令和4年6月2日）

議案番号	議案	結果
第1号	令和3年度事業報告	議決
第2号	令和3年度決算	議決
第3号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団に関する規程の整備規程について	議決
第4号	評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について	議決
第5号	令和4年度定時評議員会の開催について	議決

(3) 令和4年度第3回理事会 みなし決議 (令和4年8月31日)

議案番号	議案	結果
第1号	令和4年度第2回臨時評議員会の招集並びに目的である事項等について	議決

(4) 令和4年度第4回理事会 (令和5年3月24日)

議案番号	議案	結果
第1号	令和5年度事業計画書について	議決
第2号	令和5年度収支予算書について	議決
第3号	令和5年度資金調達及び設備投資の見込みについて	議決
第4号	就業規程の全部改正について	議決
第5号	給与・旅費規程の一部改正について	議決
第6号	役員報酬等規程の一部改正について	議決
第7号	就業特例規程(天皇崩御)の廃止について	議決
第8号	組織規程の一部改正について	議決
第9号	資金貸付規程の一部改正について	議決
第10号	会計規程の全部改正について	議決
第11号	腎バンク基金規程の廃止について	議決
第12号	文書規程の廃止について	議決
第13号	令和5年度第1回臨時評議員会について	議決

6 評議員に関する事項

(1) 評議員

ア 現況 (令和5年3月31日)

氏名	任期	備考
石原朝子	令和3年7月11日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県議会文教厚生副委員長
宮里達也	令和4年9月14日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県医師会副会長
上間初美	令和4年6月22日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県婦人連合会副会長
笠原寛子	令和4年9月14日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県栄養士会副会長
新城光雄	令和4年4月1日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県保健医療部保健衛生統括監
砂川安弘	令和3年7月11日～ 令和7年度定時評議員会	連合沖縄事務局長
田端一雄	令和3年7月11日～ 令和7年度定時評議員会	沖縄県経営者協会常務理事

イ 異動状況

発 令 日	職 名	氏 名	異動別	備 考
令和4年4月1日	評議員	新城 光雄	選任	新任 沖縄県保健医療部保健衛生統括監 新任 沖縄県婦人連合会副会長 新任 沖縄県栄養士会副会長 新任 沖縄県医師会副会長
令和4年4月22日	評議員	與儀 利枝	辞任	
令和4年6月22日	評議員	上間 初美	選任	
令和4年6月24日	評議員	新垣 弘美	辞任	
令和4年7月7日	評議員	宮里 善次	辞任	
令和4年9月14日	評議員	笠原 寛子	選任	
令和4年9月14日	評議員	宮里 達也	選任	

7 役員等に関する事項

(1) 役員

ア 現況 (令和5年3月31日)

職 名	氏 名	任 期	備 考
理 事 長	安里 哲好	令和3年7月11日～ 令和5年度定時評議員会	沖縄県医師会会長
専務理事	大城 直人	令和4年4月1日～ 令和5年度定時評議員会	沖縄県保健医療福祉事業団
理 事	末松 文信	令和3年7月11日～ 令和5年度定時評議員会	沖縄県議会文教厚生委員長
理 事	東盛 政行	令和3年7月11日～ 令和5年度定時評議員会	連合沖縄会長
理 事	金城 克也	令和3年7月11日～ 令和5年度定時評議員会	沖縄県経営者協会会長
理 事	與那覇 信子	令和3年7月11日～ 令和5年度定時評議員会	沖縄県婦人連合会会長
理 事	村濱 千賀子	令和3年7月11日～ 令和5年度定時評議員会	沖縄県栄養士会会長
理 事	糸数 公	令和4年4月1日～ 令和5年度定時評議員会	沖縄県保健医療部部長
理 事	砂川 健	令和4年4月1日～ 令和5年度定時評議員会	沖縄県商工労働部産業雇用統括監
監 事	波平 正	令和3年7月11日～ 令和5年度定時評議員会	税理士
監 事	有銘 寛之	令和3年7月11日～ 令和5年度定時評議員会	公認会計士

イ 異動状況

発 令 日	職 名	氏 名	異動別	備 考
令和4年4月1日	理 事	大 城 直 人	選 任	新任 沖縄県保健医療福祉事業団専務理事
令和4年4月1日	理 事	糸 数 公	選 任	新任 沖縄県保健医療部部長
令和4年4月1日	理 事	砂 川 健	選 任	新任 沖縄県商工労働部産業雇用統括監
令和5年3月31日	理 事	大 城 直 人	辞 任	

(2) 職 員

ア 現 況 (令和5年3月31日)

職 種	人 数	備 考
副 参 事	1	課長兼務
課 長	1 ※	
主 査	3	再任用1名、臓器移植コーディネーター1名含む
主 任	4	臓器移植コーディネーター1名含む
主 事	1	
嘱 託 員	3	
合 計	13人(3)	() は嘱託員で内数、 ※は兼務

イ 異動状況 (職員)

発 令 日	職 名	氏 名	異動別	備 考
令和4年4月1日	主事	前津 郁	採用	

【事業報告の付属明細書】

事業報告の内容を補足する重要な事項はない。